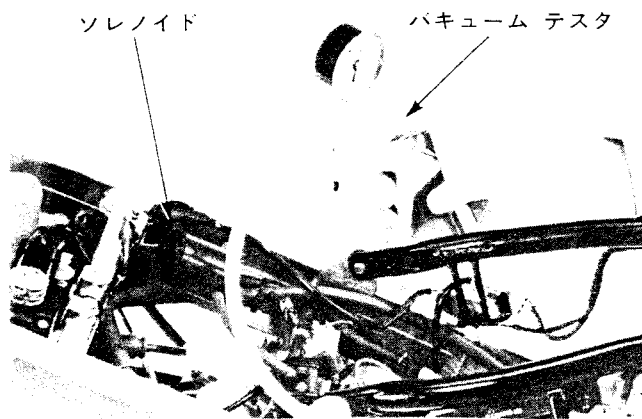


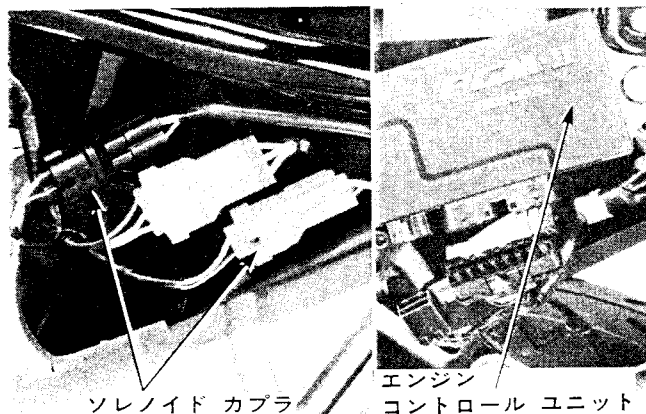
ソレノイドの作動点検

トランスミッションをニュートラルにする。
 No.1ソレノイド下側のチューブを外しバキューム テスタを接続する。No.1ソレノイドの負圧を保持した状態でエンジンを始動する。
 エンジンがアイドリング状態の時、負圧が解除されること
 No.2ソレノイドも同様に点検する。
 No.1ソレノイドは、エンジン回転を除々に上げていき、約6,500 rpmで再び負圧が保持できるようになれば良好である。



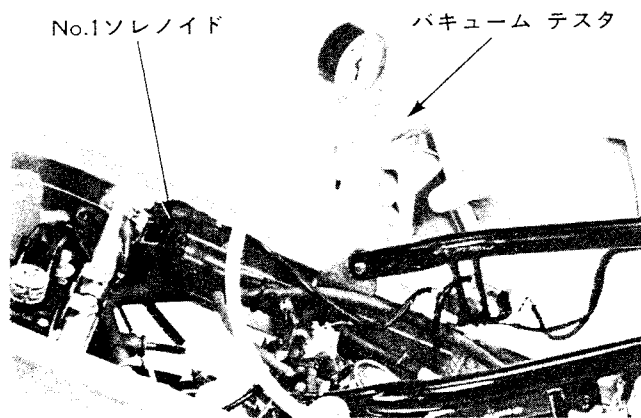
ソレノイド コイルの点検

メイン スイッチをOFFにする。
 ジートカウルを取外す。
 No.1ソレノイド下側のチューブを外しバキューム テスタを接続する。
 コントロール ユニットの16P と 4 P カプラを外す。
 16P カプラのハーネス側、桃/白端子をジャンプ コードでボディ アースさせる。



メイン スイッチをONにした時に負圧が解除され、OFFにした時、負圧が保持できればソレノイドは正常である。

桃/青端子 (No.2ソレノイド) についても同様に点検する。



ソレノイド ハーネスの点検

メイン スイッチをOFFにする。
 ジートカウルを取外す。
 エンジン コントロール ユニットの16 P カプラの接続を外す
 No.1ソレノイド 2 P カプラの接続を外し、ハーネス側カプラの端子間をジャンプ コードで短絡させる

